

横浜市大倉山公園の集会施設（横浜市大倉山記念館） 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
<p>使命1 文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる。</p>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度の利用者数は88,316人、ホール利用率は93%と高水準を維持し、市民活動の拠点として機能している。 利用者満足度は92%、スタッフ対応満足度は96%と高評価を得ており、さらに簡易テント導入など利用者ニーズに即応した改善も進められた。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> アーティストバンク登録者は8名と目標（40名）に大幅未達であり、周知・参加促進策か、または当初計画の困難性の修正を検討されたい。備品稼働件数も32件にとどまり目標（80件）達成率が低い。 見学会の週末開催やバリアフリー要望への代替案提示など、利用者多様化への対応強化を期待する。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者は、基本的な使命として、市民、利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮する等に注力の運営を実施し、施設利用者数、施設満足度、スタッフ対応満足度、いずれも利用者から高い評価を得ています。 利用ルールの徹底により「誰にもわかり易い快適な施設」作りの実施も評価できます。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度の実績データでは、上記のように何れも利用者からの高い評価を得ていますが、市民文化活動の裾野を拡大していくには、データの表層だけで判断することなく、利用者が固定化していないかなど、又、パブリシティにおける周知の在り方なども、繰り返しでなく、恒常的に工夫をしていくことが必要ではないかと思います。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸館利用率がホール利用率及び全体利用率ともに高い利用率を保持し、かつ施設利用者へのアンケートが高い満足度となる結果を得られたことを評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>特になし</p>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定量指標については概ね前年度並みかそれ以上の実績を残している。とりわけ施設・スタッフの印象や使い勝手などホスピタリティに関する指標の満足度は高水準を保っており、努力の成果が認められる。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイスブックを活用した情報発信を行っているが、フォロワー数が1,100人余りと若干寂しい。四季の話題なども取り入れてはいるが、拡散範囲が限られていて惜しい。媒体の見直しや拡充なども視野に入れて効果的な情報発信に期待する。ヒアリングでは複数の媒体を活用している旨説明があったが、HP上からアクセスできる媒体が限られている点も改善の余地がある。

横浜市大倉山公園の集会施設（横浜市大倉山記念館） 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
<p>使命2 多様な市民の文化財を活用し魅力を発信するとともに、文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する。</p>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花音コンサート(年4回、延べ255名、満足度93%)やフラワーアレンジメント教室(9回、202名、満足度98%)、花育教室(4回、42名、満足度85%)など、多様なプログラムが高い評価を得ている。 SNSを活用した広報により、ウェディング前撮り件数は前年0件から25件に増加する成果を上げた。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催事業数は52件と、目標120件に対して不足していた。内容の検証と計画の妥当性を検討されたい。 「花音コンサート」では採算性の課題があり、コストパフォーマンスの改善が求められる。 前撮りから人前式への展開など、収益化戦略を期待する。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来館数、満足度ともに、多様な市民の文化芸術活動鑑賞及び参加機会を提供していることが見て取れます。年間事業のプログラムは多彩であり、地域の多様多層の人々との協働や工夫が感じられ、高く評価できます。 文化財を活用し、実施回数や参加人数もさることながら、未来を担う子供向けのイベント等も含め、「花音コンサート」では、装花による香りや、来場者へのキーフラワーも含め、コンサートの奥行き、魅力の創出を指定管理者の特性も活かして提供。来場者数や満足度も含め文化芸術によるまちづくりとしても高く評価します。 指定管理者の特性を活かして活動の広がりをもたらし、市民の貴重な財産である文化財の知名度や存在感も高めており、まさに愛される施設、文化芸術による、まちづくりの実現に寄与しています。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大倉山記念館は、その歴史、建築物としての魅力を備えており、市民が活用しながら、文化芸術に勤しみ、地域活性にもつながるとい創出の連鎖を未来につなぐことが出来ます。その街の持つ魅力、地域らしさが大切です。好評の「花音コンサート」は、課題として、採算的に厳しい状況であり、クオリティーを維持しつつ、吟味、見直し等具体的な対策が必要です。大倉山記念館の持つこうした特性、魅力等と、地域が連携し、子供から大人、高齢者、障害をお持ちの方々まで誰もが誇りと愛着のある街づくりの取り組みを今後も期待しています。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花音コンサート、フラワーアレンジメント、花育教室のいずれもが高い満足度を得ていることを評価します。 前年は0であったウェディング前撮り件数がSNSでの広報の結果25件に達したことを評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花音コンサート、フラワーアレンジメント、花育教室についてもSNSを通じた広報により、更なり来館者の増加が図られることを期待します。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い年代を対象としたイベントを多数実施し、高い満足度を獲得できている。特にこども向けのイベントが充実しており、ボランティア等を活用した地域一体型の活動としている点は高く評価できる。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築史的にもたいへん貴重な建造物であるので、文化財保護や活用の観点から企画されたイベントの充実にも期待したい。どのイベントも高い満足度を獲得できてはいるが、一方で10%から20%弱の方々「もう一歩」と感じているのであれば、その内容を精査してさらなる充実へと繋げていって欲しい。

横浜市大倉山公園の集会施設（横浜市大倉山記念館） 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
<p>使命3 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける</p>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大倉山こどもフェスティバル」1,232名（満足度83%）、「大倉山秋の芸術祭」4,052名（満足度83%）、「小さな丘のメリークリスマス」1,085名（満足度92%）など、地域に根差したイベントが定着していた。 ・キッチンカー導入により滞在時間延長や満足度向上がみられる。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型イベントによる通常利用への影響を緩和する工夫が必要。 ・反省会の回数は4回にとどまり、次年度25回以上が目標とされており改善余地がある。一方、反省会の目標回数の妥当性もあわせて検討されたい。 ・SNSを活用し、若年層・外国人向け広報強化を期待する。 	<p>【評価する点・更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間のプログラムの内容が多岐にわたり、各層各世代にコミットしており、また地域団体や市内文化施設とのネットワークを築き、にぎわい地域連携を図るなど、まさに文化芸術による、文化的コモンズ形成の牽引役として、高く評価し、今後ますます期待ができます。 ・来場者数や満足度データも一つの指標になりますが、文化芸術を媒介とするまちづくりは、さらに心豊かに文化溢れる暮らしが求められ、例えば、「小さな丘のクリスマス」の事例は、愛護会や横浜市みどり環境局北部公園緑地事務所との連携でメンテナンス後の杉枝やハーブ等発生材を更に活用。データの表層だけではない丁寧な工夫やきめ細かい努力が付加価値をたかめ、地域の力として創発されており、好評価です。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点的にとりくまれた、協働と交流の輪を広げるコーディネータとなって新しい協働を展開され、学生ボランティアさんとの連携があがっていますが、さらに様々な市民の協働の輪を、文化を通じて伸ばしていただきたいと思います。協働の一環として、市民ファンドによる応援なども地方で実施している事例があります。 ・業務も多岐にわたり、デジタル活用による、情報の共有化を図り、事務的な作業、会議などを、メリハリをつけ、効率よく組み立てると良いのではと思います。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小さな丘のメリークリスマス」では多くの来場者があり、地域の団体等と協力して地域の季節行事として定着していることを評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>特になし</p>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活力をうまく取り入れて連携させ、市民主体の施設運営を実現できている。利用者の声を運営に反映させる努力も評価できる。季節のイベントを固定化することでリピーターの獲得に成功しているほか、キッチンカーの導入などさらに充実した内容とすることにも積極的である。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した文化施設としてはひとまず成功しているが、さらに視野を広げて地域の人々とインバウンドも含めた外部の人々との交流拠点として機能することを期待したい。

横浜市大倉山公園の集会施設（横浜市大倉山記念館） 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
<p>使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う</p>	<p>【評価する点】 ・修繕予算執行率78%、法定点検実施率100%、事故件数ゼロと安全管理は良好。</p> <p>・月次点検や即時修繕対応により快適性を維持。利用者アンケートも運営改善に活用されている。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・一般論では修繕予算執行率の引き上げ(90%以上)課題ではあるが、ヒアリングでは老朽化対応について市との連携で対応されており、本件について標記問題はないことを確認した。ついては、修繕費外での修繕実施の場合の把握性の向上が必要と感じた。</p> <p>・SDGs 認証取得に向けた環境活動の目標設定と検証が必要。</p>	<p>【評価する点】 ・重点的に取り組んだ事項として、大倉山記念館の貴重性、重要性を理解しての施設運営を実現とあり、施設の特性を踏まえた上で、利用者の視点にたつての施設運営は評価できます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・法定点検の実施率、事故件数0であり、安全性は適正であり、利用者の快適性を意識して、今後も効果的、効率的で持続可能性の高い維持管理施設運営を実施していただきたいと思います。</p> <p>・施設の老朽箇所が多々あり、横浜市との協議が急がれます。指定管理者範囲内の日常的な不具合箇所は、即時修理対応しており、指定管理者では対応できない箇所、市との協議についても、スピード感と抜本的な対応可能範囲について等、明確にする段階にあると思います。</p>	<p>【評価する点】 ・自主事業収入が予算額を大きく上回ったことを評価します。</p> <p>・施設の管理瑕疵による事故件数が0件であり、利用者に対して安全な運営がなされていることを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・施設の老朽化に対応するために、計画的な小規模修繕が継続して行われることを期待します。</p>	<p>【評価する点】 ・アンケートやヒアリングなど、利用者の声を積極的に施設運営に反映させる努力を続けている。対応もたんに機械的に処理するのではなく、利用者の立場を尊重したホスピタリティが感じられるものとなっている。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・歴史的建築物を文化施設として活用するうえで、いわゆる予防保守的な取り組みがたいへん重要となる。SDGsの観点から環境に配慮した事業展開を図ることも大切だが、同時に貴重な文化財を後世に残すためにも、現状の詳細な記録や保存活用方針の策定を市とともに進めていただきたい。</p> <p>・会議スペース等としての利用促進にも積極的に取り組んでいる点は評価できるが、一部の部屋ではキャリアの電波が不安定であるなど、オンライン会議等のニーズに際して基本的なインフラ整備が追い付いていないように見受けられる。どこまでが指定管理者としての責任範囲かという課題はあるが、より利用率を高めるためにも改善に取り組んでいただきたい。</p> <p>・近年の異常気象に対する対策も将来的な課題として挙げられる。ヒアリングからは酷暑期の利用率が低下している様子が窺えたが、市と協議するなどして天候に左右されないアクセス方法についてもぜひ検討していただきたい。</p>
<p>使命5 想定し、施設運営を継続する新型コロナウイルス感染症の影響を</p>	<p>【評価する点】 ・館内除菌を1日2回実施、イベント時の検温・消毒・座席間隔確保など、感染症対策を徹底した。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・オンラインサービスの収益化（配信・撮影料徴収等）や、新規利用者獲得のためのデジタル広報強化が求められる。</p>	<p>【評価する点】 ・スタッフによる一日2回の館内除菌、イベント時の検温、消毒、座席間隔等感染対策の徹底がされています。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・コロナに限らず、新しい感染症にも常にアンテナをたてて、対策持続に期待します。</p> <p>・使命1で、市民や施設利用者の利便性、公平性、施設の維持に注力とありましたが、今後とも、市民や利用者の声を反映しつつ、館運営について、常に刻々のアンテナをたて、施設の維持管理に努めていただきたいと思います。</p> <p>・使命3でも記しましたが、デジタル活用による情報共有化や更新等、会議や事務的作業の効率を良くし、スタッフの負担も軽減されるかと思っています。</p>	<p>【評価する点】 ・適切な感染対策が行われていることを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 特になし</p>	<p>【評価する点】 ・令和5年5月以降の「5類感染症」への移行後も基本的な感染防止策を継続して実施し、安心して利用できる環境の提供に努めている。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・収入対策として、撮影代の徴収や会議スペース等の提供など新たな事業サービスの導入は有効であると考えるが、文化財建築としての魅力を紹介するオンラインコンテンツの配信など、施設の特性を積極的に活かした試みにも大いに期待したい。</p>

横浜市大倉山公園の集会施設（横浜市大倉山記念館） 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
その他	<p>(使命1～5以外) 上位目標の位置づけとして、</p> <p>1 地域連携の深化 地域イベントでの成果は顕著であるが、今後はさらに近隣商店街、大学、NPO等との協働を拡充し、地域コミュニティの中核拠点としての機能を強化すべきである。特に、学生や子育て世代を巻き込んだ事業（例：学園祭との連動、商店街スタンプラリーとの協働企画）を展開すれば、新たな来館層の開拓につながると考える。</p> <p>2 収益化の多角化 ウェディング前撮りやイベント時のキッチンカー出店は、施設の魅力を活かした収益化の好事例である。今後は、地域事業者やアーティストとの協働による「文化財+体験型プログラム」（例：花育・音楽+歴史ガイドツアー等）の有料化を検討することにより、持続可能な財政基盤を強化できると考える。</p> <p>3 デジタル活用の推進 SNSを通じた広報は利用者増に一定の効果を持っている。次の段階として、オンライン配信やアーカイブ化を通じたハイブリッド事業を確立し、地域外や国外からの参加を可能にする仕組みが必要である。併せて、多言語対応コンテンツ（動画・字幕付配信）を整備すれば、外国人利用者の増加に資する。</p> <p>4 地域連携の深化 地域イベントでの成果は顕著であるが、今後はさらに近隣商店街、大学、NPO等との協働を拡充し、地域コミュニティの中核拠点としての機能を強化すべきである。特に、学生や子育て世代を巻き込んだ事業（例：学園祭との連動、商店街スタンプラリーとの協働企画）を展開すれば、新たな来館層の開拓につながると考える。</p> <p>5 収益化の多角化 ウェディング前撮りやイベント時のキッチンカー出店は、施設の魅力を活かした収益化の好事例である。今後は、地域事業者やアーティストとの協働による「文化財+体験型プログラム」（例：花育・音楽+歴史ガイドツアー等）の有料化を検討し、持続可能な財政基盤を強化することが期待されると考える。</p> <p>6 アクセシビリティの拡充 高齢者や障害者、外国人利用者が安心して利用できるよう、デジタル案内（音声ガイド、タブレット端末での多言語表示、字幕付配信など）の導入を検討すべきである。施設内外での情報バリアを取り除くことが、文化施設としての包摂性を一層高めると考える。</p>	<p>(使命1～5以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> 館運営において、使命と収支予算等、採算性、限られた体制における定量指標と実績等を勘案しての努力がなされていますが、例えば達成指標に届かなくても、プログラムとして内容が優れているものや、来館数や満足度の数値が高くなくても、時として、文化芸術の奥行や斬新な試みに意義がある場合もあります。来館者数、満足度の数値は重要ですが、そうした点も織り込んでの文化芸術における本質的な運営が大倉山記念館には期待できると思います。 	<p>(使命1～5以外) 特になし</p>	<p>(使命1～5以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道をテーマとしたイベントはとても訴求力がある。現在の試みをより一層充実させつつ、鉄道会社との連携による新しい取組などにも大いに期待したい。 将来の利用者である子どもたち向けの施策のさらなる充実にもぜひ取り組んでいただきたい。

横浜市大倉山公園の集会施設（横浜市大倉山記念館） 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
総括	<p>令和6年度は、高い稼働率と満足度を維持しつつ、地域に根差したイベントと文化財を活かしたプログラムが成果を挙げた。特に SNS を活用したウエディング前撮りの増加や、キッチンカーを通じた地域事業者との協働は、収益化と地域連携の新しいモデルとなり得る。</p> <p>一方で、アーティストバンク登録や主催事業数など数値目標の未達が課題である。これを解決するためには、デジタル広報強化と多様な地域団体との協働が不可欠である。</p> <p>次年度以降は、「地域連携」「収益化」「デジタル活用」を柱として、文化拠点としての魅力と持続可能性をさらに高めていくことを期待する。</p>	<p>令和6年度の基本的方針に沿っての取り組み全体につきまして、業務報告、定量指標の推移、各重点的に取り組まれた事項、課題等もつぶさに拝見し、また視察等総合致し、大倉山記念館の業務評価につきまして、着実に業務を実施されており、随所に工夫や専門性も活かしつつ運営につとめておられ、今後益々の期待ができます。</p> <p>予算、コスト、人員体制等も勘案しますと、業務範囲も広く、種々制約もありますが、施設利用者数 88、316 人、ホール利用率 93%、更に、スタッフ対応満足度 96%は、データからも市民や利用者にとって、大倉山記念館が文化芸術活動の拠点として親しまれていることが見て取れます。</p> <p>持続可能について、総体よい業務推進に取り組んでいますが、社会も市民も、刻々動いています。これまでの経験を活かしつつ、現在未来にむけての運営に際して新たな視点、改革はどうあるべきかを柔軟かつスピード感を以て恒常的に共有していく段階にあると思います。</p> <p>大倉山記念館は、横浜市指定有形文化財の建築、文化芸術活動拠点を併せ持った、市民の貴重な財産であり、地域連携に加え、ファンドなど市民とも連携することにより、運営に一層の活性が出るのではないかと今後期待します。</p> <p>例えば「花音コンサート」は高評価事業ですが採算性に課題があります。館と市民の協働の在り方に工夫や新たな視点、改革も模索し、クオリティを高めつつ、持続可能な運営に取り組んでいただくことを期待します。こうした文化財を活用、魅力の発信をするとともに、活動の拠点として場と機会を提供し、揺るぎない運営ができており評価致します。</p> <p>大倉山なるほど物語、こども記念館探検、花音コンサート、こどもフェスティバル、小さな丘のメリークリスマス、でんしゃであそぼう！いずれも各層、各年代にわたり参加や鑑賞できる多様、魅力あるイベントで、更に小学生から大学生のボランティア運営の事業もあり、地域連携も含めて、文化創発の拠点として高く評価致します。</p> <p>おわりに、市民の文化芸術活動は多岐にわたり、又 AI 化にみるように、社会動向の変化や新しいニーズも市民生活の進捗に伴い変化しています。そうした中で、心豊かな潤いある文化芸術活動の意義は大きく、限られた予算、人員等もありますが、指定管理プロジェクトが、こうした使命を踏まえ、心地よい大倉山記念館運営を視点に入れて努力されておられることを高く評価、今後益々の期待が持てます。</p>	<p>大倉山記念館は地域に密着した、利用者の満足度の高い施設であると感じました。</p> <p>今後は、地元だけではなく、SNSでの広報などにより、更なる広域の市民にも大倉山記念館の認知を広げ記念館の利用者の増加を図って欲しいと思います。</p>	<p>施設の魅力向上に向けてさまざまな取組を行っており、地域に根差した施設として市民に浸透している様子が窺える。地域の関連団体や個人との協働にも積極的で、双方向的なあり方が実現できていることは素晴らしい。</p> <p>特にこども向けの事業が充実しており、地域のニーズに即して適宜コンテンツを入れ換えるなど柔軟な運営姿勢も高く評価できる。</p> <p>欲を言えば、貴重な文化財建築を活用した文化施設として、内外に向けてその魅力を広く発信するとともに、地域の人々との交流拠点となるような取組にも期待したい。</p>